

＜研修のご案内＞

「子供都市・農山漁村交流体験活動」による地域づくり

「子供の農山漁村体験」・「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、子供たちの学ぶ意欲や自立心を育てるとともに、受入側の地域活性化につながります。この体験活動に取り組むためには、児童・生徒を送り出す学校側と受け入れる農山漁村側とが実施前から実施中・実施後まで、協働で取り組むことが欠かせません。

この研修では、次のような項目について、送り側と受入側と一緒に学びます。

- 本事業の社会的意義(送り側、受入側)を学ぶ
- 教育効果を高める方法や先進的な事例を理解する
- 受入側の体制や安全管理対策など、送り側の気になる点の解消をめざす
- 送り側・受入側の事例紹介や受講者同士の意見交換を通じて相互理解を深める

本研修は、子供の農山漁村体験・子ども農山漁村交流プロジェクトに携わる方が一堂に会する研修です。

日程	令和元(2019)年 11 月 21 日(木)～11 月 22 日(金)(2 日間)
場所	全国市町村国際文化研修所(JIAM) JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村・都道府県職員、市区町村・都道府県教育委員会職員、学校教職員、 市区町村・都道府県が推薦する受入地域協議会、NPO、PTA関係者等 の職員 2 日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。
募集人数	40 人
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	7,300 円 上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食 1 回、昼食 2 回、夕食 1 回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

研修の内容及び日程

11/21(木)	13:00 ~ 13:20	【導入講義】本研修のねらい～学校側と受入側との協働～ 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏 「子供の農山漁村体験」・「子ども農山漁村交流プロジェクト」について、仕組みを始め、その意義や効果などについて、解説いただきます。
	13:20 ~ 14:05	【受入側の事例紹介】特色ある先進的な取組事例の紹介① 一般社団法人南紀州交流公社 事務局長 佐本 真志 氏 和歌山県白浜町日置川地域を中心に南紀州の自然環境と農林漁業の生業を活かした「ほんまもん体験」での体験交流型観光による教育旅行の受入れを主に行う。民間主導での運営、地域住民が活躍する地域振興事業をご紹介します。
	14:15 ~ 15:00	【送り側の事例紹介】特色ある先進的な取組事例の紹介② 新潟県胎内市 前教育長 小野 達也 氏 胎内市の全小学校は、第5学年になると、ホームステイなどで市内に泊まりながら郷土について学習する「ふるさと学習」に、取り組まれています。郷土を学びつつ、異世代交流を図るノウハウなどをご紹介します。
	15:10 ~ 16:20	【グループワーク】学校のねらいと地域課題を踏まえた宿泊体験活動のプログラムの作成 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏 一般社団法人南紀州交流公社 事務局長 佐本 真志 氏 新潟県胎内市 前教育長 小野 達也 氏 事例紹介者や講師から情報を得ながら、学校のねらいと地域課題を踏まえた宿泊体験活動のプログラムを各グループで検討・作成します。
	16:30 ~ 17:30	【国の支援施策説明】「子ども農山漁村交流プロジェクト」関連支援施策
11/22(金)	9:00 ~ 10:10	【講義】教育的な効果を高めるプログラムの展開方法について 独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 参事 小林 真一 氏 送り側の教育目標と受入側の取組目標を総合して、教育効果の高い体験プログラムを展開する方法について、ご講義いただきます。
	10:25 ~ 14:35	【グループワーク】学校のねらいと地域課題を踏まえた宿泊体験プログラムの作成～プログラムの検討、検討結果の発表、講評～ 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏 独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 参事 小林 真一 氏 この研修で得た情報等を参考にして、子ども農山漁村体験のプログラムを各グループで検討・発表します。発表後、講師による講評をいただきます。
	14:40 ~	ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

問い合わせ先：総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携推進室 電話：03-5253-5394